

第37回「部落差別をなくする運動」強調旬間 in 黒潮町

【期間 7月10日～7月18日】

部落差別とは

日本固有の人権問題である部落差別は、憲法が保障する基本的人権に関わる重要な問題です。

1965(昭和40)年の「同和対策審議会答申」以来、旧大方町と旧佐賀町においては、その理念のもとに部落差別の解決のために積極的に取り組んできました。その結果、住環境整備や産業振興などの主要なハード事業は、いくつもの課題を残しつつもおおむね完了し、一定の成果を収めることができました。

しかし、人々の観念や潜在意識にかかわる心理的差別については、着実に解消へ向けて進んでいるものの、結婚問題を中心に依然として根深く存在しています。このことは、2005(平成17)年・2006(平成18)年に実施した住民意識調査の結果をみても明らかで、今なお多くの課題が残されています。

今後は、この心理的差別の解消を目指し、これまでの同

和教育や啓発活動によって積み上げられてきた成果とこれまでの手法への評価を踏まえて、他のさまざまな人権課題との関連を考慮しながら、教育・啓発を中心に部落差別の解決をめざしていくことが必要とされています。

(解説)部落差別の問題を行政では同和問題といえます。

期間中の行事

この期間、大方あかつき館で写真などの特別展示、映画上映会や講演会を行います。入場は、すべて無料です。皆さんのお越しをお待ちしています。

特別展示「リバティー」

- ▼横浜解放子ども会・浜松解放子ども会の活動紹介
- ▼万行地区・横浜地区の今昔写真展
- ▼じんけんの七夕展示期間

7月10日(土)～18日(日) 午前10時～午後5時 ※12日(月)は休館日です。

場所

大方あかつき館町民ギャラリー

映画上映(アニメ)

- 7月10日(土)
- ①午後2時～2時35分
- ▼「新ちゃんがないた」
- ②午後2時45分～3時25分
- ▼「チエリーブリッツサム」

講演会

演題

「差別をなくして最高の笑顔を」

講師

桂 七福さん(落語家)

日時

7月16日(金)

開場

午後7時

開演

午後7時30分

場所

大方あかつき館レクチャーホール

講師プロフィール

1965年徳島県三好郡三加茂町生まれ。国立阿南工業高等専門学校機械工学科卒業。在学中より落語研究部に在籍し部長を務めるなどアマチュア落語家として活躍。プロの落語家への夢を持ちながらも、エンジニア

アとして精密機械メーカーに入社。

しかし、夢を捨てきれず1991年10月上方落語家四代目桂福団治の弟子として入門し落語の道へ。

現在は徳島地元放送局において、ラジオやテレビのレギュラー番組を担当しながら、徳島県内3カ所の定期落語会および全国各地の公演活動を行っている。



人権イメージキャラクター
人KENまもる君・人KENあゆみちゃん

《訂正》

広報くろしお6月号の8ページ中、歳出表の見出しが「歳入」となっていました。お詫びして訂正します。

県の強調旬間

【7月10日～7月20日】

講演会

演題

「歴史から見た日本人の差別」逆説の日本史」から読む」

講師

井沢元彦さん(作家)

日時 7月15日(木)

開場 午後1時

開演 午後1時30分

場所 高新RKCホール

6F ※入場無料



お問い合わせ

本庁住民課人権啓発係

☎ 43-2800(直通)

大方町民館

☎ 43-1204

大方児童館

☎ 43-3622

教育委員会人権教育係

☎ 55-3190

佐賀町民館・児童館

☎ 55-2108